



第15回テーマ： 六甲山生活と野鳥の魅力

講演内容

- 六甲山事情
- 六甲山郵便局父子二代
- 六甲山で見られた野鳥

実施日：平成21年6月20日（土）
午後1時～3時45分
場 所：六甲山自然保護センター



講師：^{きたの}北野 ^{いさむ}勇さん
プロフィール

1943年(昭和18年)六甲山生まれ、66歳。昭和30年六甲山小学校卒業、鷹匠中学校・神戸港高校卒業。昭和36年六甲山郵便局勤務(26年間)。六甲山ふれあいのまちづくり協議会委員長、六甲山小学校同窓会長などを兼任。



声のきれいなオオルリ

神戸大学生も迎えて環境整備活動

六甲山は曇り空でしたが、午前中の環境整備ボランティア活動には12名が参加しました。神戸大学からESD(持続可能な開発のための教育)授業の一環で学生とスタッフ5名も参加されました。

ササ刈りと植生観察、実験区画の観察、モリアオガエルの卵塊調査の3つに分かれて活動しました。

六甲山の生活史を語る人

北野さんは、お祖父さんが大正10年に六甲山上に移り住まれて以来、3代89年にわたる六甲山住民です。お祖父さんからは池の水の切り出しの話等、郵便局員をされたお父さんには涙ながらの苦労話を聞いて育ったとのこと。

最近、息子さんにカメラをプレゼントされ、日常生活は野鳥の写真撮影に没頭されています。2年足らずの短期間で、51種もの野鳥の生き生きした姿をとらえています。美しいパネルを作って展示していただきました。



父の北野亀一さん

六甲山生活に根ざした野鳥観察

講演では、今昔の六甲山事情や戦時中の郵便配達の驚くばかりの苦労を紹介されました。そして、「メインのテーマ」として六甲山で見られた野鳥の解説に移りました。

ご自宅の庭や近辺で撮影された野鳥をはじめ、51種の野鳥のスライドに軽妙なジョークも加えて話されました。「頼んでもじっとしてくれん」撮影の苦心や、熱中しすぎて「鳥と一緒に寝とき」と言われたことなど、思いを込めた取り組みが偲べれます。

六甲山の野鳥は120種とか、90種といわれます

が、北野さんが写真に撮ることができたのは現在のところ51種です。

野鳥のスライドは単体ではなく、オスとメスをともに撮影されており、識別しにくい似た鳥は比較した写真も用意されました。

美しいスライドと洒落な語りによって、学術的な関心や趣味道楽の領域ではないことを実感しました。

参加者は、北野さんが長年暮らしている六甲山生活の魅力を追及されていることに感銘を受けた様子でした。

六甲山の野鳥の多様性も考えたい

六甲山で見られなくなった野鳥や、ソウシチョウのように最近増えてきて問題を感じさせる野鳥についても紹介していただきました。山麓とは違った自然環境の楽しみ方をうらやましく思うと同時に、野鳥の多様性が少なくなっていることには注意を促されました。

※詳しくは、1、2ページをお読みください。



野鳥に魅せられる参加者

参加の感想 大北 修さん

4月に神戸に転居し月の1～2回六甲山に登っています。本セミナーをグループ祭の時にパンフで知り、今回の内容が鳥であった事から申込みをしました。

鳥の種類としては、そうめずらしい種類はなかったですが、ウグイスのさえずりの写真や比較写真等があり、北野氏の話術もあり大変興味深く聞き入り今後も参加したくなり、又六甲山での野鳥観察もしたくなりました。



主催：六甲山を活用する会

協力：兵庫県立人と自然の博物館

後援：兵庫県神戸県民局、灘区役所、神戸市教育委員会

【助成金をいただいている機関】

イオン環境財団、大阪コミュニティファンド、灘区役所、公益信託自然保護ボランティアファンド、公益信託TaKaRaハーモニストファンド



第75回テーマ：六甲山生活と野鳥の魅力



第75回市民セミナーの流れ

市民セミナー

1. あいさつ：13:05～13:20
2. 講演：13:20～14:55
3. 質疑応答：15:15～15:40

講演

- 六甲山事情
- 六甲山郵便局父子二代
- 六甲山で見られた野鳥



野鳥のスライドに見とれる

講演の挨拶（北野 勇さん）

昭和18年生まれで、六甲山でずっと暮らしています。六甲山のふれあい喫茶で野鳥の写真展をしたのがきっかけで、本日の講演につながりました。野鳥の話が本題ですが、六甲山生活の話も要望されましたので、父親の苦労話などをご紹介します。



北野さん

講演内容

1. 六甲山事情

■銀行の保養所はほとんど無くなった

銀行をはじめ大手企業が手を引いたので、保養所が極端に減少している、かつては郵便の配達箇所が850世帯ほどあったが、現在は220世帯箇所ほど、昔の4分の1で淋しくなった。

■祖父の代から六甲山に住んだ

今から89年前の大正10年、お祖父さんは淡河町から六甲山に引っ越してきて、九鬼さんの別荘の番人になった。氷の切り出しの仕事もしており、ツゲ池の採氷は昭和4年の春が最後の切り出しになった。アイスロードを大八車で氷を運び、ササの上を滑らして引っ張り降ろすために、ササを植えたと聞いている。

■昔と今では山の住民は変化した

親父は小学校3年生の頃から六甲山に暮らしていた。当時は仕事も別荘の管理をする人がほとんどであった。最近は保養所や山荘を買い取り山上で生活する人が増えてきており、住民が多様化している。

2. 六甲山郵便局父子二代

■明治43年に開局

「六甲山郵便局の歴史」に記しているが、六甲山郵便局は明治43年6月26日に二等郵便局として開局した。6月～10月の夏季期間のみ季節郵便局として開業し、昭和6年には和洋折衷のスマートな局舎に建て替えられた。昭和7年、六甲登山架空索道（六甲ロープウェイ）による輸送をした。昭和10年から年中開業し、昭和16年普通郵便局に昇格した。

■太平洋戦争勃発で激動の波

写真は昭和16年当時のもので、徴兵された局

員の見送りの時の写真だと思われる。昭和19年、神戸中央郵便局六甲分室に改定した。同年、鉄材供出のために六甲ロープウェイが撤去されて、運送手段は人力になり、毎日休むことなく3人で輪番をした。

唐櫃駅まで郵便物を取りに行き、天秤棒で20キロの郵袋を担ぎ、急峻な行者道を徒歩で往復16キロの道のりを運んだ。年末はお餅を担ぐ日もあり、総重量は40～50キロにもなった。



六甲山郵便局の記念写真

■父の苦労話

表紙の写真は父の亀一が26歳の頃で、当時の服装がよくわかる。大金を運ぶ時は「亀ちゃん、気い付けや」と励まされた。右肩を骨折して不自由な父は左肩ばかりで担いでいたと、涙ぐみながら話したものである。又冬の配達の時には、昔は雪も多く降り、雪の吹き溜まりで胸の深さまで埋まり、抜け出すのに1時間ほどかかり苦労したこともあった。

3. 六甲山の野鳥

■去年2月から51種類を撮影

いよいよメインの部分に入る。子どもの頃から鳥に興味を持っていた。息子が300ミリのカメラを買ってくれたので、去年2月から必死に追いかけながら、51種を確認して撮影した。六甲山には120種の野鳥がいるとか、森林植物園でも90種いるというが、そんなにタイミング良く出くわすことはないし、「頼んでもじっとしとってくれん」ので、撮影には苦労した。

■庭にやってくる鳥

シジュウカラ：庭石に置いたパンのくずを食べにきたところを撮影。写真で「鳥の全長はどこまで？」と、参加者に問いかけて、「くちばしの先から尾の先まで」と説明。



シジュウカラ

■いい声の三鳴鳥

ウグイス：茶褐色できれいな色ではない。オスがメスを寄せるためにいい声で鳴く。一夫多妻制。「ホー」は息を吸い込みながら発声する。(コマドリ、オオルリとで三鳴鳥)



ウグイス

■つがいを撮る

キジ：一夫多妻制。危険があるとオスが見張り、メスは後からついて行く。



キジ

■賢い鳥

カケス：俗名「森の番人」。クリ、ドングリ、何でも食べ貯食性がある。賢い鳥で、トンビや猫の物真似をする。



カケス

ホトトギス：悪賢い、数が少ない。ほかの鳥の巣に卵を産み付けて親鳥に育ててもらふ。巣立つまで見とどけるが、自らは育てない。



ホトトギス

■撮影しにくい鳥

クロツグミ：頭から胸と背中が黒色、腹は白く斑模様、くちばしは黄色。なかなか地面に降りない。



クロツグミ

ルリビタキ：数少ない。オスとメスで全く色がちがう。



カワセミ

トラツグミ：トラ模様。保護色でわかりにくい。

カワセミ：警戒心が強い。くちばしで魚を捕り石にたたきつけてから補食する。別名清流の宝石、空飛ぶ宝石という。

コジュケイ：甲高い声でなく。アベックを驚かせるアベックバードともいう。中国原産の帰化種。

ジョウビタキ：目がくるっとしていて愛らしい。別名は紋付鳥。

■増えてきた鳥

ソウシチョウ：最近六甲山で増えてきた。他の鳥や昔からいた鳥がいなくなってきた。



ジョウビタキ



ソウシチョウ

質疑応答

北野さんの好きな鳥は?：オオルリです。声がいい、きれい。自分の住みかを決めている。住友池附近に1つがいがいる。撮影のために10日間通った。



オオルリ(三鳴鳥の一つ)



まとめ(北野さん)

六甲山と野鳥の出会いがあることを祈念しています。写真家に「野鳥の顔を見たらいかん」とアドバイスされました。「人間の7~8倍見える目で、近づいてくる人の目の光を見ているので、余所見をしながら近づけ」と言われました。

事務局より

本日は北野さんと野鳥の親しい「お付き合い」をご紹介いただきました。六甲山の自然環境の恵みを豊かに受け止めておられることに感激しました。スローライフの教訓が一杯でした。感謝します。

◆参考・配布資料など

- ・レジュメ：「六甲山生活と野鳥の魅力」
- ・スライド：「六甲山の野鳥」
- ・六甲山の野鳥の写真パネル 20点



野鳥の写真パネルの展示

北野 勇さんへのご連絡は当会事務局へお願いします。

〒657-0028 神戸市灘区森後町 2-1-3
電話：050-3743-9897 FAX：078-856-6616
URL：http://www.rokkosan-katsuyo.com/

◆参加者の声

- ・昔の郵便配達のご苦労がよくわかりました。
- ・野鳥の素晴らしさの感動をありがとう。
- ・六甲山ハイクから自然を楽しむ方向に転換します。
- ・セミナーを開かれるご苦労に敬意を表します。

◆参加者：28名(50音順・敬称略)

明石 文史郎	伊澤 信雄	泉 美代子	岩木 美寿雄
上仲 範司	大北 修	岡谷 恒雄	尾崎 尚子
北野 勇	久保 広昭	関口 敏雄	田邊 征三
寺垣 耕平	堂馬 英二	渡海 宗一郎	富井 善之
豊立 拓也	西井 豊	東本 孝次	藤井 敏夫
古本 美千子	松田 輝義	村上 定広	森 康博
矢仲 英俊	山口 賢三	米村 邦稔	